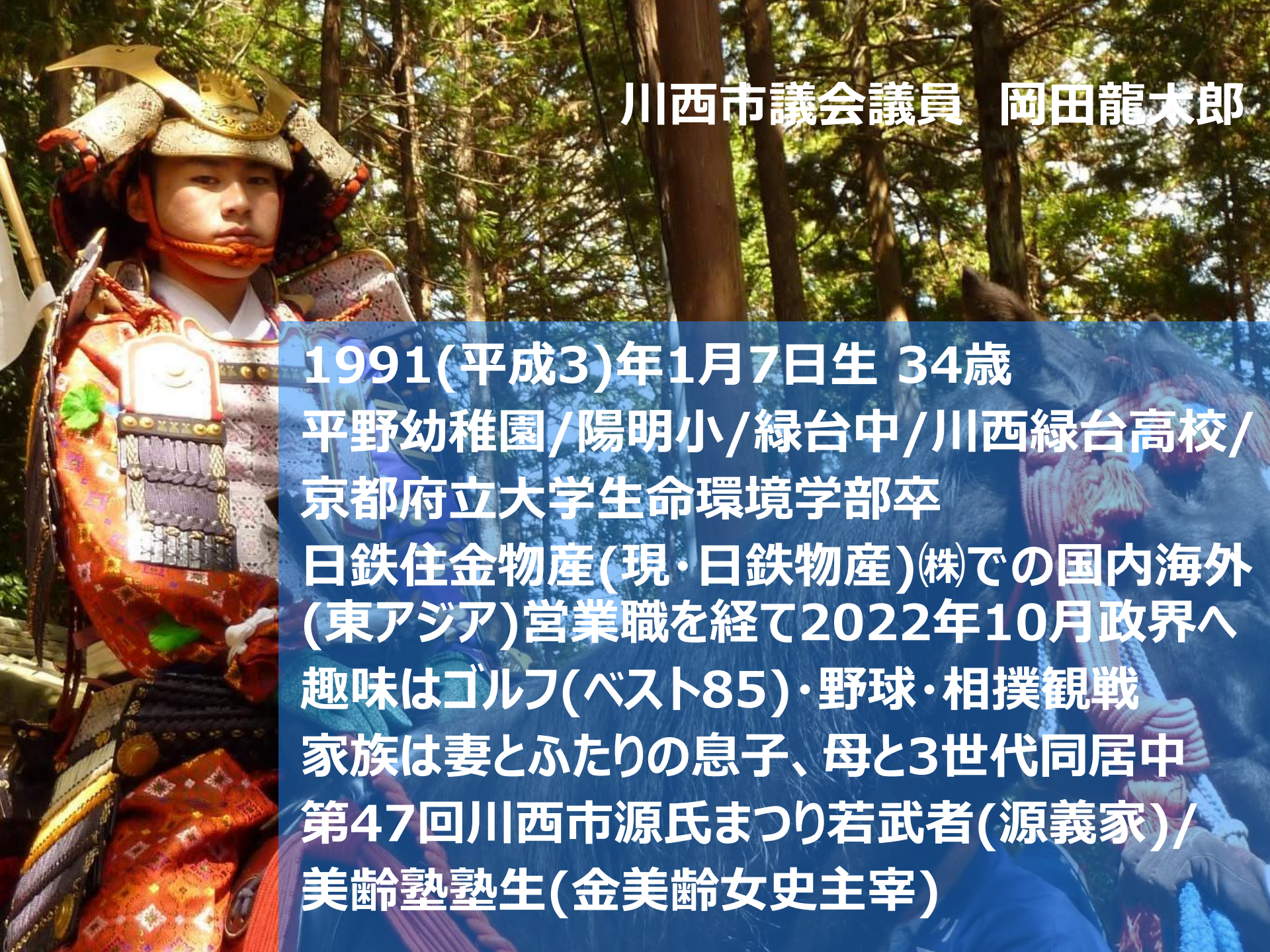
地方議員が主導！
バス事業者と地域住民が一体となった地域公共交通の維持･存続への挑戦

2025年9月13日

川西市議会議員　岡田龍太郎



川西市議会議員　岡田龍太郎

1991(平成3)年1月7日生 34歳
平野幼稚園/陽明小/緑台中/川西緑台高校/
京都府立大学生命環境学部卒
日鉄住金物産(現・日鉄物産)㈱での国内海外
(東アジア)営業職を経て2022年10月政界へ
趣味はゴルフ(ベスト85)・野球・相撲観戦
家族は妻とふたりの息子、母と3世代同居中
第47回川西市源氏まつり若武者(源義家)/
美齢塾塾生(金美齢女史主宰)

Topics

1. 兵庫県川西市の概要
2. 多田グリーンハイツの概要
3-1. 川西市の公共交通
3-2. 阪急バスの現状(川西市・多田GH)
3-3. 行政ができること
4. なぜ地方議員なのか？
5. プロジェクト概要
6. 最後に

1.兵庫県川西市の概要

☑基本情報

人　口　：　152,585人
世帯数　：　72,010世帯
面　積　：　53.44㎢
＊令和7年3月末現在

☑特色

大阪のベッドタウン

大阪梅田まで約30分,伊丹空港も近い立地

豊かな自然

「日本一の里山」として知られる黒川地区

清和源氏発祥の地

清和源氏の祖である源満仲を祀る多田神社

三ツ矢サイダー発祥の地

平野に湧き出た天然炭酸水を「平野水」として製造

2．多田グリーンハイツの概要

☑基本情報

人　口　：　13,173人

世帯数　：　6,112世帯

＊令和7年3月末現在

☑特色

丘陵地のオールドニュータウン

開発から今年で60年経過

高齢化率40.3%

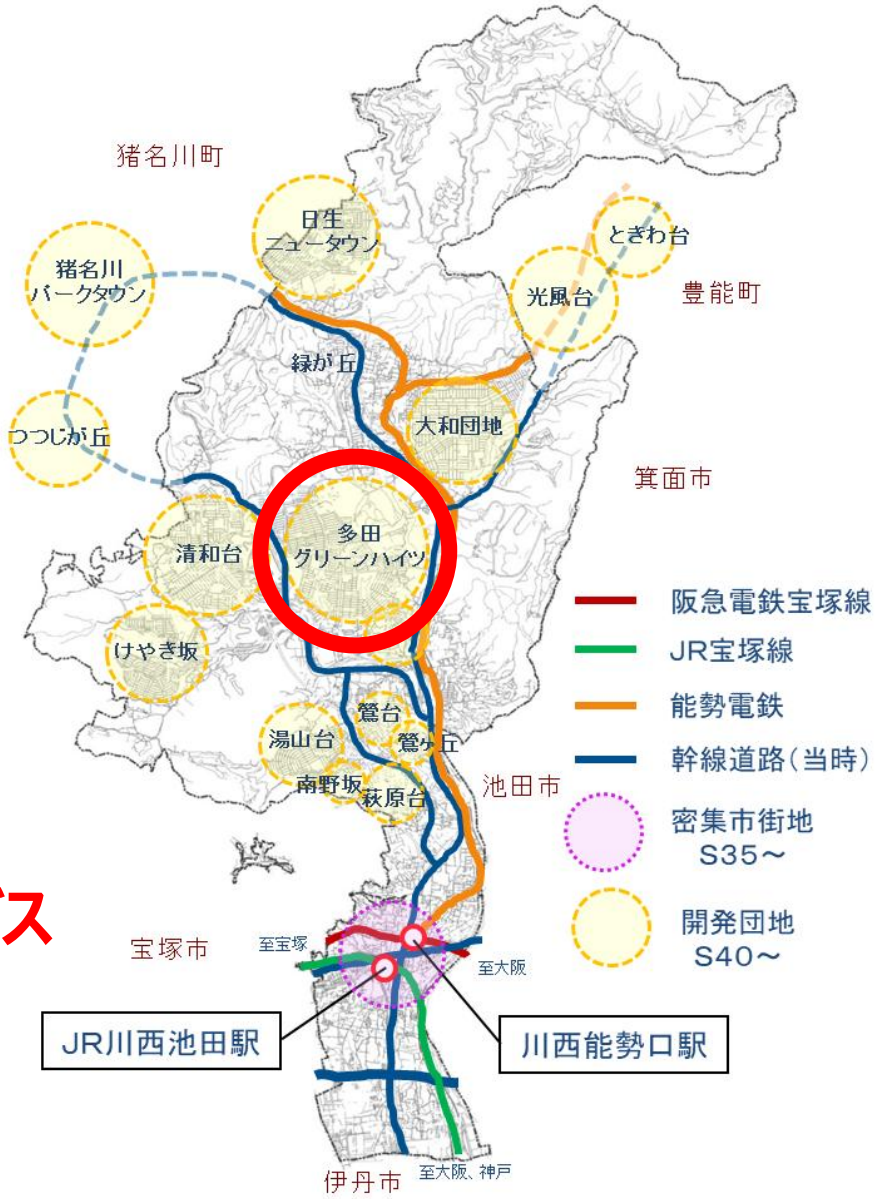
65歳以上人口＝5,308人

充実の教育環境

小学校x2, 中学校x1, 県立高校x1

最寄り駅までの移動手段＝車 or **バス**

高齢化が進む中、団地存続にはバスが必須

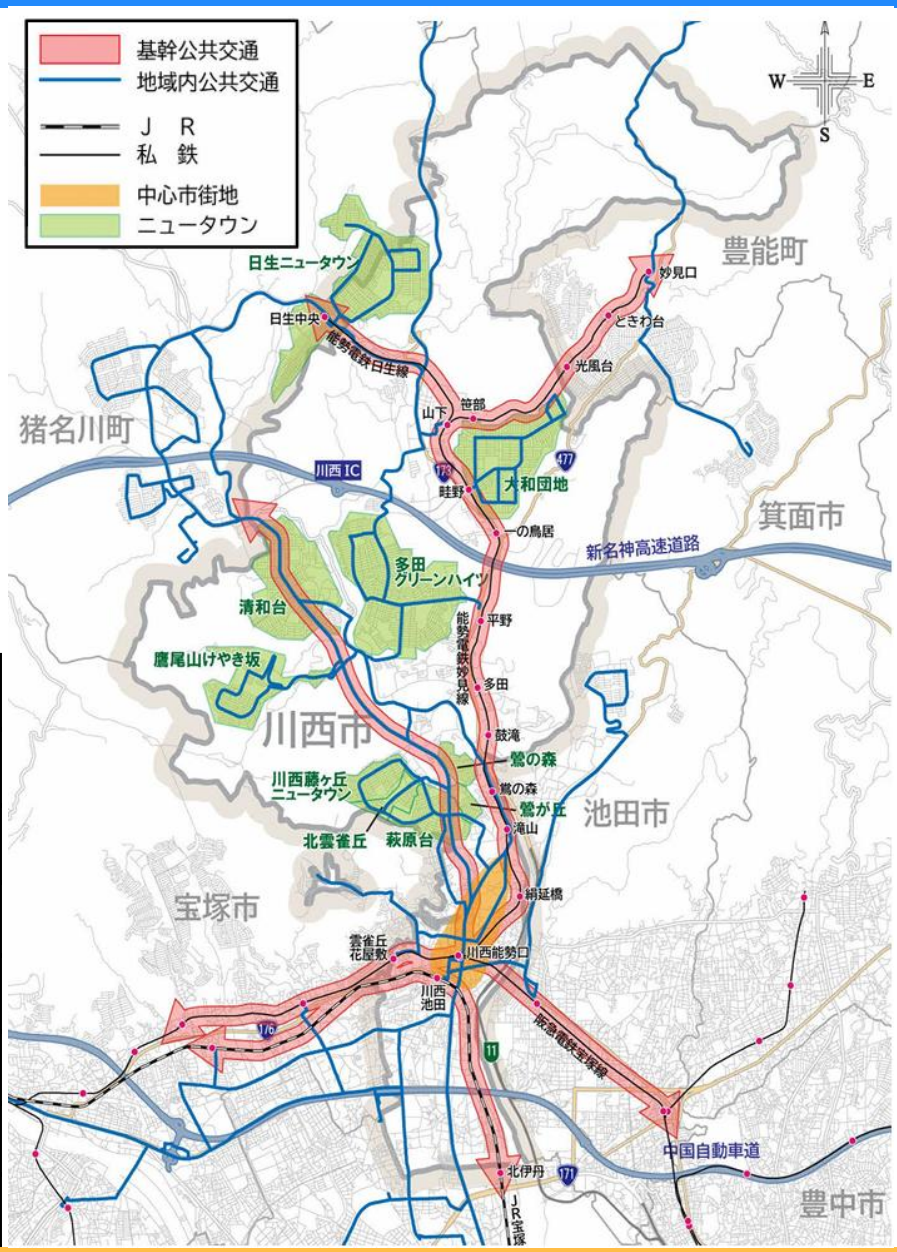


3-1．川西市の公共交通

☑主に
「基幹公共交通」
「地域内公共交通」で構成

☑中でも
「基幹公共交通」
「地域内公共交通」双方に跨る
バスは市民に不可欠な移動手段

種類(役割)	種類(モード)		
基幹公共交通	鉄道	JR西日本	宝塚線
		阪急電鉄	宝塚線
		能勢電鉄	妙見線
			日生線
地域内公共交通	路線バス	阪急バス	
		伊丹市交通局	
	乗用タクシー		



3-2. 阪急バスの現状（川西市全体）

☑川西市内主要4路線収支及び利用者数(コロナ禍前比)

◎利用者数 **約150万人** 減少

＊約930万人→約770万人

◎年間収支 **約1億円** 赤字

＊運賃値上げ＋減便により赤字幅は変わらず

阪急バス㈱路線別収支額及び利用者数(単位：千円・千人)

	R4		R1(コロナ禍前)	
	収支額	利用者数	収支額	利用者数
川西猪名川線	-55,710	6,527	-53,261	7,754
多田グリーンハイツ線	7,063	522	-2,366	650
日生ニュータウン線	-42,966	482	-37,636	561
平野山下線・大和団地線 (旧市立川西病院・大和団地線)	-12,573	200	-14,741	312
4路線合計	-104,186	7,731	-108,004	9,277

出典：阪急バス㈱資料等よりデータ抜粋

3-2．阪急バスの現状（多田グリーンハイツ）

☑多田グリーンハイツ内路線利用者数及び便数推移

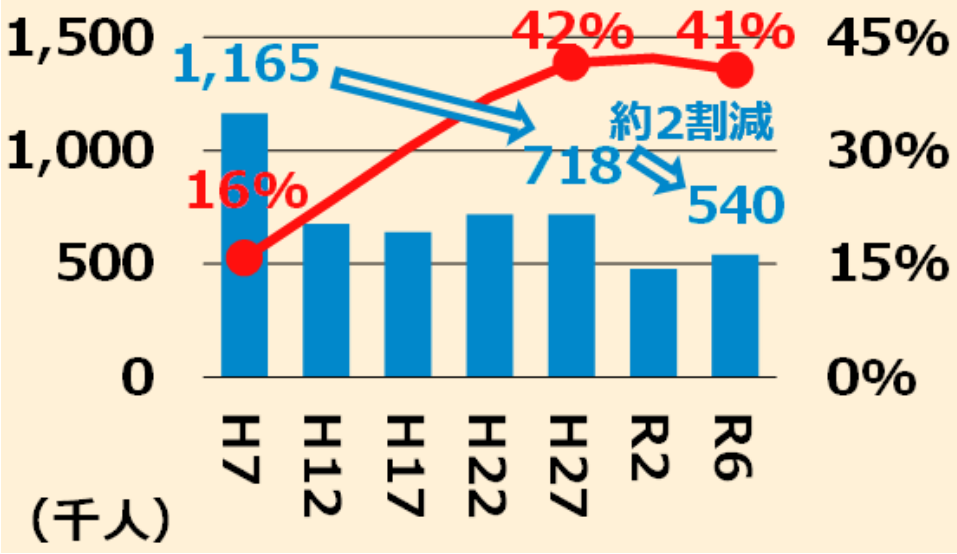
◎利用者数 **約2割以上** 減少

＊直近10年間は減少トレンドが続く

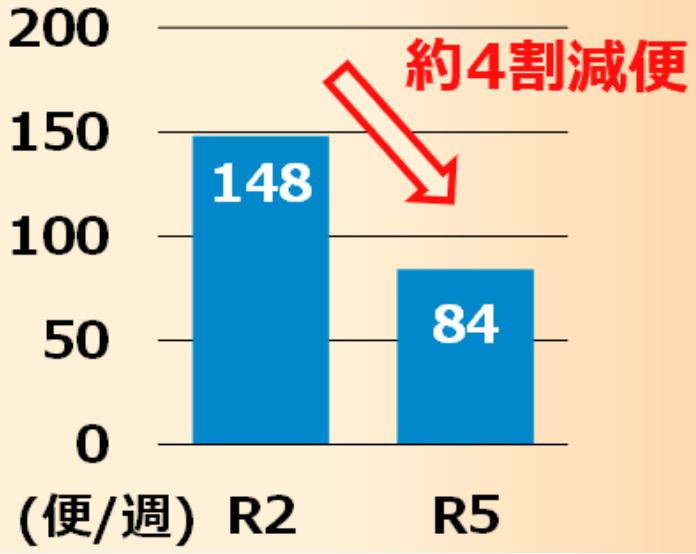
◎便数推移 **約4割** 減便

＊週当たり運行便数：148便(R2) → 84便(R5)

【GH高齢化率・利用者数の推移】



【週当たり運行便数の推移】



3-3．行政ができること

☑バス事業者に寄り添い、赤字幅の縮小に汗をかくべきでは？

行政ができることは？

◎**直接的財政支援**

◎**乗客数向上施策**

誰がやるのか？

行政にあれやれこれやれ言うのではなく…

地方議員主導でやる！

事業者撤退の可能性を想定すれば、悠長に構えている暇は無い。
自治体は、**“選ぶ側ではなく選ばれる側”**だという危機感が必要。

４．なぜ地方議員なのか？

☑地方議員こそ・・・

◎プレーヤーであれ！

＊交通事業者の現状や行財政的な視点等が抜け落ちた非現実的な要望・陳情に乗っかるのはダメ

◎ステークホルダーとの調整役だ！

＊地域の代表として、地域住民・交通事業者・自治体担当部局等を繋ぎ合わせる

そして、

◎勉強しろ！

＊地域公共交通に対する志を持つ地方議員のさらなる拡大に挑戦中

現在、阪神エリアにおいて様々な講師をお招きし、地方議員・自治体職員・民間事業者を対象に地域公共交通に関する勉強会を継続主催中
昨年度は150人もの方々が参加、今年度は更なる拡大を予定

4．なぜ地方議員なのか？

阪神政衛会
第２回 特別勉強会
『地方都市の魅力と活力の創出』
～フランスの事例に学ぶ～
9.25 Wed.
18：15 ー 19：45
会 場
アステ川西 6F 市民プラザルーム 1
講師紹介
フランス都市政策研究者：博士（京都大学工学部）/ ビジネスコンサルタント（日仏異文化研修講師）
申込方法
右記QRコードよりお申込み下さい
講師
ヴァンソン藤井 由実 氏
定 員：３０名
参加費：無 料
阪神間の、若く意欲的で、各方面で経験を積んだ議員で構成する議員集団。
川西市議会議員 岡田 龍太郎
伊丹市議会議員 花田 康次郎
宝塚市議会議員 桑原 健三郎
宝塚市議会議員 持田 知恵
西宮市議会議員 坂本 龍佑
西宮市議会議員 松本 貴行
尼崎市議会議員 鷲田 真緒
お問い合わせ：team.okadaryutaro@gmail.com (岡田 mail)

阪神政衛会
第３回 特別勉強会
『モビリティ・マネジメント』
10.31 Thu.
18：15 ー 19：45
会 場
アステ川西 6F
市民プラザマルチスペース 1
講師紹介
筑波大学大学院システム情報系
社会工学域教授
（専門：土木計画学、交通工学）
申込方法
右記QRコードよりお申込み下さい
筑波大学大学院 教授
谷口 綾子 氏
定 員：３５名
参加費：無 料
阪神間の、若く意欲的で、各方面で経験を積んだ議員で構成する議員集団。
川西市議会議員 岡田 龍太郎
伊丹市議会議員 花田 康次郎
宝塚市議会議員 桑原 健三郎
宝塚市議会議員 持田 知恵
西宮市議会議員 坂本 龍佑
西宮市議会議員 松本 貴行
尼崎市議会議員 鷲田 真緒
お問い合わせ：team.okadaryutaro@gmail.com (岡田 mail)

5．プロジェクト概要

☑地域住民主体の利用促進には？

(1)きっかけづくり

地方議員主導によるバスまちワークショップを2回実施

1st. 利用促進アイデア出し
2nd. アイデア実現の具体策

5．プロジェクト概要

5．プロジェクト概要

☑地域住民主体の利用促進には？

(2)舞台づくり

地方議員が主催するマルシェ x 阪急バス

阪急バス無料DAYを画策！アイデア実現と効果最大化
WS参加者がマルシェ当日にバス利用促進を自発的に訴える

5．プロジェクト概要

入口
ENTRANCE

乗り方教室
交通安全教室
ノンステップバス
入口
ENTRANCE

乗り方教室
交通安全教室
のりば

5．プロジェクト概要

☑**地方議員主導**の効果は？

◎チームビルディング

阪急バス・コンサル・大学・地方議員によるスペシャルチーム結成
⇒市行政だけでは実現しえない座組による付加価値創出！

◎サイレントマジョリティへのリーチ

自治会・コミュニティ等、従来から地域活動に熱心な方々に加え、地域の商店街・子育て世帯・中学生・高校生にまちの課題共有と同時にその解決に向けた取組への参画を促した
⇒結果、2～92歳まで100名以上が参加！

◎適切な政治利用

議員個人の仕事を市の仕事に、行政を少しずつ変える
⇒議員の職権を最大限活用し、市民全体の利益に貢献する

5．プロジェクト概要

(3)取組結果

①マルシェ当日バス利用者　1.3倍 (平常時比)

②マルシェ時間帯の10～14時台は1.5～2倍

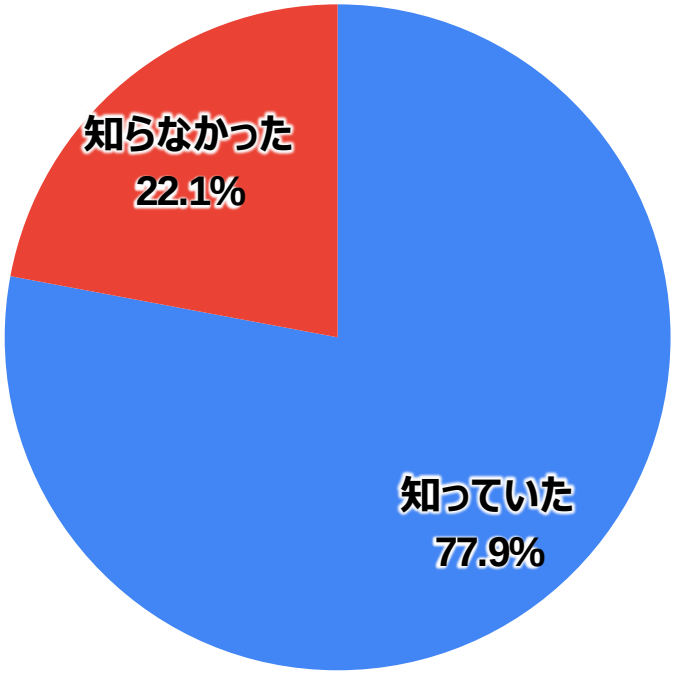
時刻帯	2024/11/9	2024/11/16	利用者数比較	
6時台	30	25	-5	83.3%
7時台	57	68	11	119.3%
8時台	36	46	10	127.8%
9時台	92	106	14	115.2%
10時台	66	122	56	184.8%
11時台	76	138	62	181.6%
12時台	80	146	66	182.5%
13時台	59	97	38	164.4%
14時台	83	123	40	148.2%
15時台	81	65	-16	80.2%
16時台	61	71	10	116.4%
17時台	59	68	9	115.3%
18時台	52	61	9	117.3%
19時台	61	48	-13	78.7%
20時台	24	25	1	104.2%
21時台	16	29	13	181.3%
22時台	12	14	2	116.7%
合計	945	1,252	307	132.5%

5．プロジェクト概要

(3)取組結果

バス無料DAYの認知度は約８割
ポスター・チラシの効果大

無料DAYの認知[n=68]

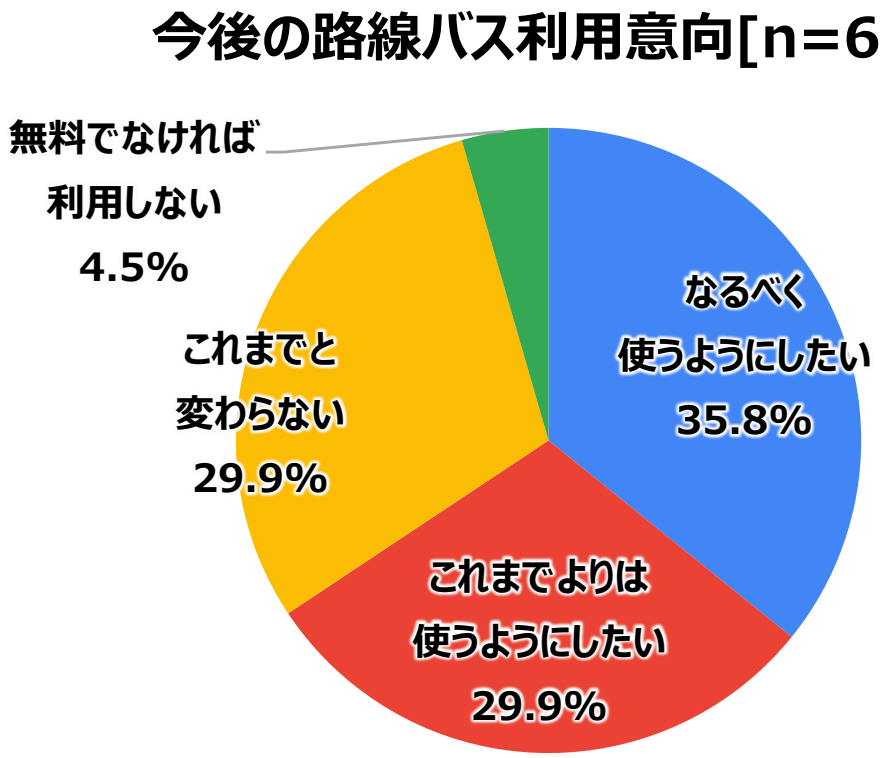


年齢	知っていた	知らなかった	認知度
小学生以下	2	0	100.0%
中学生	1	0	100.0%
高校生	2	2	50.0%
大学生･専門学校生	1	0	100.0%
10～20歳代(学生除く)	0	1	0.0%
30歳代	9	2	81.8%
40歳代	18	2	90.0%
50歳代	4	2	66.7%
60歳代	8	4	66.7%
70歳以上	8	1	88.9%

＊バス利用者アンケート(水明台三丁目バス停利用者)

(3)取組結果

約７割が今後もバスを使いたいと考えている



＊バス利用者アンケート(水明台三丁目バス停利用者)

5．プロジェクト概要

☑**無料運行**の効果は？

◎クルマからのシフト

無料がなければ、利用者の３割がクルマを利用

◎新たな外出促進

無料がなければ、利用者の1割がそもそも外出しなかった

◎普段バスを使わない人が利用

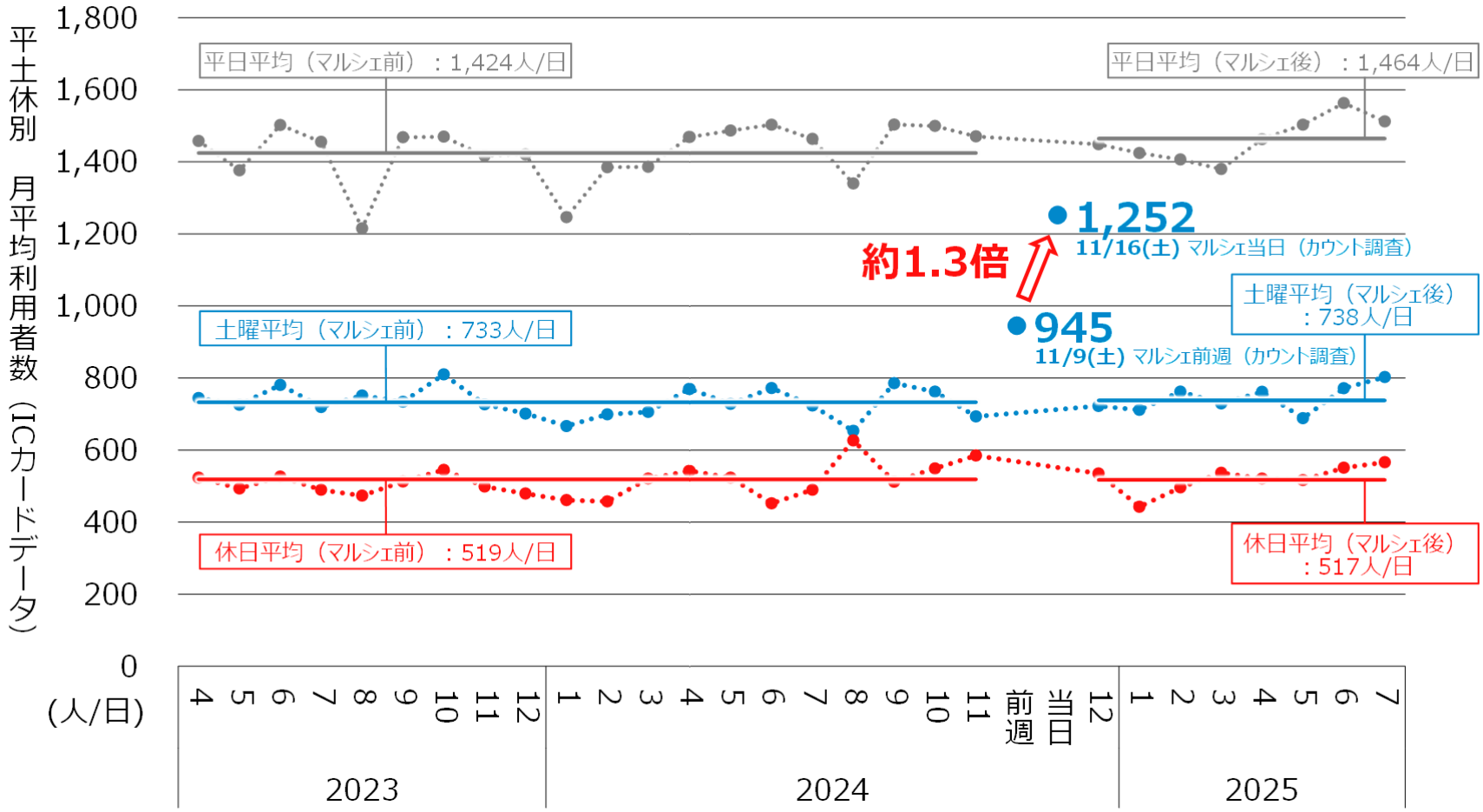
利用者の６割が年数回未満の利用頻度

5．プロジェクト概要

☑プロジェクト後の**定量観測**

◎乗車人員は若干ながら増加

【おさんぽマルシェ前後の路線バス利用者数の推移】



5．プロジェクト概要

☑想定外の効果①

◎市長施政方針で『モビリティ・マネジメント』が10年ぶりに復活

記者発表資料　／　ニュースリリース

川西市 Kawanishi City

報道関係者　各位

発表日　2025 年 8 月 19 日（火）

兵庫県 川西市 広報広聴課　☎ 072-740-1104

公共交通×教育　モビリティ・マネジメント　学校現場での実践を考える

市内小学校の教職員と公共交通事業者が一緒にワークショップを開催

兵庫県川西市では、市内を運行している阪急バス㈱、能勢電鉄㈱が監修・作成した副教材や資料を使って授業を実施してもらうことを目的に、８月１日、市内小学校で働く教職員と同社の職員、自治体の交通担当職員（川西市、猪名川町、宝塚市、池田市、豊中市）らが集まり、副教材や資料を学校教育の現場にどのようにして生かすことができるかを考えるワークショップを開催しました。

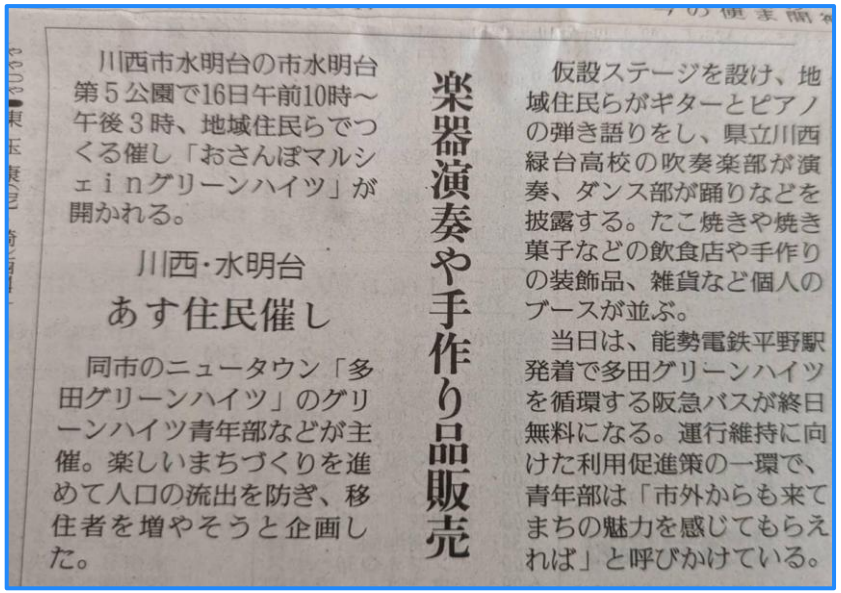
研修受講後、実際に授業を実施した学校には、校外学習の際に使用可能な阪急バス㈱と能勢電鉄㈱の無料乗車券を配布する予定です。（2，３年生が対象）

5．プロジェクト概要

☑想定外の効果②

◎各メディアで取り上げられる

①地域発意のマルシェがなぜ地域課題解決の舞台になったのか？
②バスが無くなったらどうする？！当事者みんなで考えたバスまちWS
③一般質問 “地域公共交通”1テーマ60分「事業者撤退を危惧」



楽器演奏や手作り品販売

川西市水明台の市水明台第５公園で16日午前10時～午後３時、地域住民らでつくる催し「おさんぽマルシェinグリーンハイツ」が開かれる。

川西・水明台
あす住民催し

同市のニュータウン「多田グリーンハイツ」のグリーンハイツ青年部などが主催。楽しいまちづくりを進めて人口の流出を防ぎ、移住者を増やそうと企画した。

仮設ステージを設け、地域住民らがギターとピアノの弾き語りをし、県立川西緑台高校の吹奏楽部が演奏、ダンス部が踊りなどを披露する。たこ焼きや焼き菓子などの飲食店や手作りの装飾品、雑貨など個人のブースが並ぶ。

当日は、能勢電鉄平野駅発着で多田グリーンハイツを循環する阪急バスが終日無料になる。運行維持に向けた利用促進策の一環で、青年部は「市外からも来てまちの魅力を感じてもらえれば」と呼びかけている。

①読売新聞
(2024年11月15日)

②地域情報サイトまいぷれ
(2024年11月17日)

議会質疑 解説

兵庫・川西市

岡田 龍太郎 議員

事業者撤退を危惧

自発的行動取る意識醸成

③日本教育新聞
(2025年6月23日)

5．プロジェクト概要

☑**想定外**の効果③

◎学校教育へ波及

当該地域内緑台小学校「探求学習」で地域公共交通がテーマに
今年度は教育部門との連携により、阪急バス・能勢電鉄他と共に
公共交通利用促進に繋げる取組を進行中

6．最後に

☑地方議員の働き方を変え、固定概念を覆し、期待値を超える

◎たかが地方議員でも、本気になればここまでやれる！

◎地方議員がゼロイチで道を拓き、行政は前例に後乗りすればいい！

◎近隣自治体の議員有志と取組全てを共有し、横連携により拡張！

全国3万人いる地方議員が変われば、
日本はもっと良くなる！

ご静聴誠にありがとうございました